

全国学力・学習定着状況調査 令和8年4月21日、23日、5月8日実施 対象3年生

教科調査結果

「全国学力・学習状況調査」 国 語		国語 平均正答率(%)		
		四季中	広島県 (公立)	全国 (公立)
R8年度	全 体	63.0%	64.0%	63.9%

「全国学力・学習状況調査」 数 学		数学 平均正答率(%)		
		四季中	広島県 (公立)	全国 (公立)
R8年度	全 体	52.0%	57.0%	57.0%

「全国学力・学習状況調査」 英 語		英語 平均IRTスコア集計値		
		四季中	広島県 (公立)	全国 (公立)
R8年度	全 体	489	492	499

〔国語〕
気持ちがいよに伝わるように、表現を工夫して書く問題の正答率が、広島県や全国と比べても高かった。普段の授業では、登場人物の心情の読み取りに加えて、読み取ったことや自身が考えたことを文章で表現する活動をよく取り入れており、その成果が出ていると考えられる。
しかし、語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味をとらえる問題については正答率が低く、かつ無回答率も高かった。語彙の定着の弱さもしくはることながら、類義語や対義語の理解度も低いため、授業の中で語の意義を確かめたり、語と語のつながりや対立を考えさせたりする学習活動を取り入れていきたい。

〔数学〕
「関数」の分野で、「表から必要な情報を読み取ること」については正答率が高かった。普段の授業から問題を読み取れることを意識させていることが少しずつ成果に表れてきていると考えられる。
一方で、「図形」の分野では、図形の証明問題において、順序立てて考え、文章にすることに課題があった。今後の授業において、文章化するうえで、数学の用語を確認し、相手に説明する活動を通して順序立てて考えていく場面をつくっていき、そのうえで、説明したことを文章で表せるように書く時間をとるようにしていきたい。

〔英語〕
日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりする問題の正答率が高かった。普段の授業から聞くことや読むことの際には、概要を捉えたり、文章や資料をじっくり読み取るように取り組ませていることが、成果につながっていると考えられる。
しかし、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書いたり、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとめる文章を書いたりする問題の正答率が低かった。今後、文章構成を意識させ3～4文でもつながりのある文章を書くことができるように、英作文の力をつけさせたい。

生徒質問紙(抜粋) 各質問の肯定的評価の割合(%)

	本校	広島県	全国
自分にはよいところがある	86.6%	85.5%	84.0%
将来の夢や目標を持っている	56.7%	68.7%	67.6%
人の役に立つ人間になりたいと思っている	93.3%	96.4%	95.9%
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	65.0%	79.6%	78.6%
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	60.0%	78.7%	78.2%
地域や社会をよくするために何かしてみたい	63.4%	73.4%	72.3%
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3以上使用した	96.6%	78.9%	78.2%
国語の勉強は好きだ	66.7%	57.5%	57.2%
1、2年生のときに受けた国語の授業で互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめた	91.6%	85.8%	84.8%
数学の勉強は好きだ	26.6%	56.9%	56.1%
1、2年生のときに受けた数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できた	41.6%	64.4%	63.0%
英語の勉強は好きだ	41.6%	49.5%	51.2%
英語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う	76.7%	86.7%	87.6.2%